

雑司が谷旧宣教師館だより

第7号

1998年4月20日発行

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 FAX (03)3985-4081



「今も出会えてなつかしい羊食官」にご挨拶される！
(NTTホームページ・ハローネットジャパン)

日本大学の山口廣名誉教授お薦めの「東京の木造洋館20選」の中で、当館が紹介されています。他には、和朗フラット(港区麻布台3丁目)、旧尾崎行雄邸(世田谷区豪徳寺2丁目)、山本有三記念館(三鷹市下連雀2丁目)等。アドレスはNTTのホームページ「東京発」でhttp://www.wnn.or.jp/wnn...ion/youkan/f_right.htmlが、http://www.wnn.or.jp/wnn-tokyo/collection/youkan/f_right.htmlです。

カタクリのミニ群生地 を作ろう！！

春の花々が咲き出しました。裏門の一角に「カタクリ」と書いた札が約20枚。勢いのある「ツルニチ子」の中に埋もれながらも地下茎を延ばして増えています。紅紫色の小さな花は、うつむき加減に咲いて可愛です。植え替えは9～10月が最適ということで、この秋に行おうと植木好きの担当者たちが張り切っています。(乞ご期待)

ある時期の宣教師館内部

(明治40年～昭和初期)

— 未整理の資料から —

区指定文化財となった旧宣教師館は、マッカーレブ関係、2.建築の立場から、3.赤い鳥関係、4.雑司が谷地蔵関係の4つ視点で展示をしています。開館準備期には、様々な関係者の協力のもとに聞き取り調査を行いました。その中から当時の館内部の様子ものを紹介します。(文中のローレン・ナガイさんより、昨年マッカーレブ愛用の机を寄贈していただきました。カリフォルニア在住。)

・このガスレンジは質素な宣教師館においては、昔の目には異様に立派に写ったようだ。色は黒。「まるでピアノか何かのちっちゃいみたいなお感じ」「三線なんかに行っても見たことないような(立派なもの)」と表現する人もいる。当時はもう都市ガスが通っていたらしい。これで煮物をしたり、パンを焼いたり、時にはローストチキンなども焼いた。

・ここに地下室への入口がある台所で作った缶詰やびどうジュースなどを入れておいた。マッカーレブさんの留守中にこれを飲んでしまった人もいるとか、...

・この部屋にはロッキングチェアもあったようだ。木のテーブルには、壁にレースのついた白いテーブル掛けがかかっていた。



・グランドピアノではなく、箱型のアップライト。(黒)宗教的なことには使わなかった。時々生徒(日曜学校の)が来て、練習していたこともある。(女性宣教師も弾いていた。)

・この部屋にはカレンダーも掛かっていたらしい。日本のものではなかったようだ。

・巻き上げ式の白いカーテン。紐がついていて、ぐーとひっぱって上げ下げするカーテン。

・この部屋で教会の伝道誌「道しるべ」を作っていた。(昭和3～16年)ここは機写版もあったが、ローレン・ナガイさん(昭和15年まで2年半、秘書として宣教師館にいた。)によると、印刷の方は印刷所に出していたらしい。「道しるべ」を作る時は、真ん中にテーブルを置いて皆でワイワイと意見を出し合った。早稲田の英文科に通っていた学生が中心になってやっていた時期もある。ローレンさんはこの部屋に住んでいた。ローレンさんの前には山羊を飼っていた夫婦がおり、近くの子ども達は羊の穴からよくこの山羊をのぞきに来たという。

●お風呂のお湯はガスで沸かしていた。バスタブに関しては「ジャパニーズスタイルの水製で、長方形だった」（ローレン・ナガイ）「小何奈のお風呂だった」（古宮いそ子さん）の2通りの証言がある。

おもてにタンクがあって、水を煮み上げていたらしい。小さなボイラーのようなものがあったらしく、ガスでこの場でお湯を沸かしていた。



●お客さん用の寝室。2階のこの寝室には、入れかわり立ちかわりいるんな人が泊まったり、住んだりしていた。来日した多数の宣教師たちがここから全国へと散って、布教活動を行った。

●マッケーレブは暖炉を背にしてここでタイプライターを打っていた。手書きとかではなく、たいいはずで打っていたようだ。ローレンさんもこのタイプを使ってよく手紙を書いたそうだ。

●本棚もあったらしいが、よくわからない。

となり、今年は仲間と共にオペラのアリアを独唱とアンサンブルで聞かせてくれます。

また、雑司が谷在住の河本さんが5～6本のハルモニカを使っての「チゴインルワイゼン」等の名曲をご披露していただきます。他にも朗読文化研究所の児童の発表など盛り沢山です。詳しくは広報としまをご覧ください。お楽しみに！！

日時：5月10日（日）母の日
午後2時～4時

場所：雑司が谷旧宣教師館中庭

参加費用：無料

申込：不要、当日直接会場へ

詳細：タウン誌『わがまち雑司が谷』
代表者前島さん ☎03-3988-7733 または
当館へお問い合わせください。

花ごよみ

旧宣教師館の庭は、春を待ってツルニチニチ草・スイセン・チュウリップ・ハナニラ・ジャクワク・西洋なし・桜等が、一斉に咲き始めました。今回はこの中のハナニラについて紹介したいと思います。

【ハナニラ】

科名 コリ科の球根
花期 3～4月
適地 水はけのよい日向



花は美しいですが、葉をちぎるとニラのよう匂いがするため、ハナニラという名前がつけられています。花形は星のような形をしており径3cm、花は青みがかった白色で、葉間から10～20cmの花茎を出し、1輪ずつ花をつけます。ほかの花に先がけて早春に次々と花数を殖やすその姿は、まるで地面に星を散りばめたようです。

庭の片隅に可憐に咲いているハナニラを是非ご覧ください。 反り目

来館者の声

♡とてもおもしろかった。よくこんなのを今まで残しておいたなと感心した。庭もあんまり素敵だったので、ここに住みたくなってしまった。宣教師のことは歴史で少し学んだだけだったので、宣教師というのが今までよりずっと身近に感じられるようになった。またここに来たい。
(3.29 10代 文京区)

花のガーデンコンサート

第9回

春恒例の、タウン誌『わがまち雑司が谷』（代表前島郁子さん）主催の「花のガーデンコンサート」は今年で第9回目を迎えます。第1回の時、子どもオペラで参加した中島郁子さんが、東京芸大の学生

【編集後記】児童コーナーのソファが破れてきたのでカバーを作ってみました。六角形で予想以上に布が要って、所々縫ぎ接ぎをしました。子どもたちが背もたれにして本を読んだり、寝ころんだりする様子を見て、新しくして良かったと自画自賛しています。館内のこと、庭のこと、お気付になられましたら是非お知らせください。 文責 浜地